

番号	1-2-1		表題 工事期間の制約下における鋳鉄管部の再構築工事について (大手町幹線再構築工事)	
内 容	<p>大手町幹線は、布設から50年以上経過しており、一部の圧送区間において劣化が原因による汚水の漏水事故が複数回発生している。そのため、早急な対策が必要である。</p> <p>本工事区間である鋳鉄管部（圧送管部φ1600, L=42m）における内面被覆工法による再構築工事を設計した際の課題と解決策を報告する。</p> <p>銭瓶町ポンプ所は再開発により移転が令和4年4月に予定され、新ポンプ所と既設幹線を接続させる工事が行われている。再開発の工程に影響を及ぼさないよう配慮すると本工事は令和3年4月から令和3年9月までに限られ、時間的な制約が生じた。大手町幹線の直上には街路樹や地下埋設物が輻輳しており、開削による布設替えでは制約期間内で施工できない。非開削の更生工法も検討したが、通常の複合管（製管工法）では既設管が鋳鉄管のため、安全性の評価ができない。そのため、プロフィールによる更生管だけで自立強度を確保する自立管（製管工法）であるSPR-SE工法を採用した。</p> <p>施工に際しては、汚水圧送停止と伏越し部の滞留汚水排水を行うため、大手町幹線の汚水を銭瓶幹線へ切替えた。また、大手町幹線流下先では中段幹線の逆流を防ぐため仮設の角落しを設置して、施工環境を構築し、安全かつ円滑に施工できた。</p>			
キーワード	大手町幹線、内面被覆工法、工事期間の制約、施工環境			
処理区名	芝浦処理区	位置区分	管きよ	
職種区分	土木	施策区分	再構築	
状態区分	設計、工事	新規性		
実施年度	令和3年度	全体期間		
担当部署	中部下水道事務所 再構築推進課 設計担当			
発 表	局内	令和3年度 設計・工事事例発表会		
履 歴	局外			
調査方法				
関連情報				